

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

アメリカとヨーロッパの動向は世界と日本に対して大きな影響を与える。日米関係、日欧関係などに関わってきた実務経験なども踏まえ、アメリカの政治と経済、その日米関係への影響、ヨーロッパの統合と経済、その日欧関係への影響、そしてそれらを受けて今後のグローバル経済の展望について講義する。

授業計画

第 1 回	イントロダクション
第 2 回	アメリカ政治
第 3 回	アメリカ経済 1
第 4 回	アメリカ経済 2
第 5 回	日米経済関係 1
第 6 回	日米経済関係 2
第 7 回	アメリカを含めたアジア太平洋経済協力
第 8 回	ヨーロッパ統合 1
第 9 回	ヨーロッパ統合 2
第 10 回	ヨーロッパ経済通貨統合 1
第 11 回	ヨーロッパ経済通貨統合 2
第 12 回	日欧経済関係
第 13 回	イギリスとEU
第 14 回	TPPと日EU・EPA
第 15 回	グローバル経済の展望
第 16 回	期末試験

到達目標

- ・アメリカ政治と経済の現状について理解し、その日米関係への影響について考えることができる。
- ・ヨーロッパ統合と経済の現状について理解し、その日欧関係への影響について考えることができる。
- ・上記を通じて、今後のグローバル経済の展望について考えることができる。

履修上の注意

国際経済論も履修することが望ましい。

予習・復習

アメリカ、ヨーロッパについて、新聞や雑誌の記事をよく読んで下さい。時間があれば参考書も読んで下さい。

評価方法

学期末試験 100%

テキスト

参考書：現代アメリカ政治経済入門 河崎信樹他編著 ミネルヴァ書房
ISBN 978-4-623-09267-3
参考書：現代ヨーロッパ経済（第6版） 田中素香他著 有斐閣
ISBN 978-4-641-22191-8